

ご報告

平成 30 年 0 9 月 2 5 日

沖 縄 赤 十 字 病 院

病 院 長 大 嶺 靖

沖縄赤十字病院の病床機能の一部変更について

1. 変更について

当院は、沖縄県の南部圏域での地域医療構想を踏まえ、赤十字社として急性期医療、災害医療を担いつつ、この医療圏でどう貢献できるかを検討してきた。

その結果、南部医療圏で不足する回復期病床の一端として、当院の病床機能を分化することにした。具体的には既存の 1 病棟を緩和ケア病棟に改修し転換した。

当院における緩和ケア医療の理念を「大切な時間をその人らしく過ごす」とし、終末期でありながら、積極的に在宅療養に繋げていく。地域の在宅医療を担う診療所の先生方と協力して「ときどき病院、ほぼ在宅」を目指していく。それにより、この圏域で必要とされる病床機能の一部を確保し提供できると考えている。

当院は、最も人口が集中する那覇市で、これからも急性期医療、災害医療を担いながら、赤十字社の理念である博愛の心で緩和医療を捉え、患者のための医療を実践していく。

2. 変更内容

| 病床種別 | 変更前 | | 変更後 | |
|------|-------|-------|-------|-------|
| | 病床機能 | 病床数 | 病床機能 | 病床数 |
| 一般 | 高度急性期 | 28 床 | 高度急性期 | 30 床 |
| | 急性期 | 286 床 | 急性期 | 246 床 |
| | | | 回復期 | 26 床 |
| | 病床計 | 314 床 | 病床計 | 302 床 |

平成 30 年度沖縄県地域医療介護総合確保基金事業補助金を活用。

平成 30 年 5 月：既存病棟を緩和ケア病棟へ改修する工事を着工。

平成 30 年 7 月：緩和ケア病棟入院料の施設基準を届出。